

# 骨髓バンク 2006年7月 会報32号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrowjp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・福間究

<事務局> 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間方

TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail: [bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp](mailto:bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp)

平成18年度総会開催！！

モットー

「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」

サブスローガン

～ドナー登録の仲間が増えたらうれしいです～

「骨髓バンクを支援するいばらきの会平成18年度総会」が、銚田市の「くるみ屋」さんにおいて去る4月15日開催されました。

☆議題☆

- (1)平成17年度活動、会計、同監査報告：承認
- (2)平成18年度活動方針案、予算案、役員改選案：承認

平成18年度の総会において下記の通り新役員が改選されました。

平成18年度役員

・顧問	井手 義 弘 (再任)
・会長	牛 島 英 二 (再任)
・副会長	貫 井 徹 (再任)
・事務局長	福 間 究 (新任)
・取手支部長	貫 井 徹 (再任)
・県西支部長	細 谷 栄 一 (再任)
・つくば支部長	小 田 倉 孝 夫 (新任)
・会報編集担当	小 田 倉 孝 夫 (再任)
・HP編集担当	伊 井 義 人 (再任)
・会 計	福 間 明 子 (新任)
・会計監査	川 井 正 一 (再任)

4/15総会に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。とても有意義な時間を皆さんと共有することができてとてもうれしく思いました。総会において平成18年度の新体制及び議題を皆様の賛同を得て新たなスタートを切ることになりました。今後とも皆様と共に骨髓バンクのさらなる発展及びいばらきの会の発展に努めてまいりたいと思います。なお、いばらきの会発足当時より事務局長を務めて頂きました山崎さんが退任されました。山崎さんのこれまでのご尽力とご貢献に会を代表しまして心より御礼申し上げます。山崎さんにはこれからも地区普及広報委員として、会の中心メンバーとして引き続きご活躍頂くことになっております。なお、後任には、会の誰よりも若く、そしてとても積極的な行動力をお持ちの福間さんに新事務局長として活躍して頂くことになりました。福間さんの今後のご活躍を大いに期待しております。どうぞお手柔らかに！総会終了後には、今年度からのドナー登録会の不適格条件確認及びアンケート廃止などが実施されることに伴い、説明員有資格者の再研修会を開き、研修を受けて頂きました。また、今回より新しくメンバーとなられました、井手さんの奥様、菱沼君、また、佐藤ルカちゃんのお父様にも説明員研修を受けて頂きました。これからも各地での登録会でのご活躍を期待しております。(牛島英二)

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## 4月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

事務局長退任のご挨拶 山崎揚久

さて、私この度の総会をもって骨髄バンクを支援するいばらきの会の事務局長を退任致す事になりました。不肖の身でありながら、多年に渡り骨髄バンクを支援するいばらきの会の事務局長として会の進展、骨髄バンクの発展に微力ではございましたがお力添えが出来ました事は、一重に皆様のご助言ご指導の賜にほかならず、ここに心よりお礼申し上げます。これからは事務局長としての経験を生かし、また皆様のご教示を教訓として、会の一員として皆様のお役に立てればと考えております。どうか今後とも一層のお引き立て宜しくお願い致します。

なお、私の後任と致しまして福間究さんが総会以降事務局長の任に当たりますので、なにとぞ私同様、お引き立て下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とますますのご発展をお祈り致します。

事務局長就任のご挨拶 福間究

さて、私この度の総会を持ちまして、事務局長に就任させて頂くことになりました。

前任の山崎さん同様、会員の皆様には今後とも御指導ご鞭撻頂けます様よろしく願い申し上げます。

また、事務局運営に御意見、御希望などありましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

### 4月12日 NTT茨城分会献血併行登録会

ドナー登録者数 10名(受付12名)

献血者数 56名(受付67名)

登録会参加者

水戸保健所 山内様(代理)

登録推進員 欠席

いばらきの会 川井、林、湯本、山崎(揚)、山崎(晃)

今回初めてのNTT茨城水戸支店での献血併行型登録会はNTT各労組様のご協力で実施させていただきました。あいにくの風雨模様の中、午前中は献血されるかたもまばらで、ドナー登録数も1名と今日の空模様のような感じでした。しかし午後には雨も小降りになり、労組様の呼びかけもあって、献血やドナー登録も伸び始め、12名ものドナー申込があり、10名が登録していただきました。登録されなかった2名は時間が無く、説明は聞いていますので近くの献血ルームで登録していただければと思います。今回対応していただいたNTT茨城分会の秋田様にも登録していただき誠に感謝しております。参加された皆様方大変お疲れ様でした。(山崎揚久)

### 4月16日 かすみがうらマラソン会場献血併行登録会

ドナー登録者数 30名(受付36名)

献血者数 61名(受付82)

登録会参加者

土浦保健所 伊藤様、藤村様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

骨髄移植推進財団 林さん

いばらきの会 福間、伊井、鈴木、細谷ファミリー、和田、湯本、植村、菱沼、小田倉

前日の天気予報では降水確率が微妙なところで心配しておりましたが開始直前は薄日が射して大丈夫そうでしたが終日小雨のちらつく天気でしたがそれでも本格的な雨にならず助かりました。さっそく開始直後には2名の方が来られ順調な滑り出しでした。その後は少しずつの登録者でしたが午後からはフルマラソンを終えたランナーのみなさんがぞくぞく帰り始めた関係で説明用のテーブルがたらないような状況でした。結果的に皆様の協力の下30名の方々にご登録をいただけたことは大変ありがたく感謝申し上げます。15人くらいはいくかなと思っていただけにうれしい誤算でした。特にフルマラソンを終えたランナー

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## 4月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

の方が登録者になって頂けたのは驚きでした。通常の登録会でも時間がなかったり面倒だったりで敬遠されてしまいがちなケースが多い中マラソンで疲れきっていても登録してくれたのは感謝です。逆に献血者数が昨年よりも少なかったのは天気も悪くまた待ち時間が長いことやフルマラソン参加者は献血が不可であった事などが原因だと思われまます。

その為、我々メンバーも「献血をよろしくお願いします」と声がかかるまで叫び続けました。マラソン大会での登録会も結構、効果はありそうですね。また当日は、財団の林さんも忙しい中、登録会に駆けつけてくれ大変助かりました。登録会後は臨時定例会を開き、現状報告や今後の治療方法の展望、今後の普及活動に関する意見交換ができたのは大変有意義なものでした。参加された皆さんお疲れ様でした。

(小田倉孝夫)

### 4月18日 保健所担当者研修会開催

18日に行われました会合の概要を報告いたします。

出席者: 茨城県薬務課 原様  
茨城県血液センター 豊田渉外課長  
阿部業務係長  
茨城県内各保健所担当者  
骨髓移植推進財団 牛島、福間、山崎

#### 1. 茨城県血液センターとの協議

下記テーマで血液センターと協議した。

##### (1) 献血会場混雑時の臨時受付手順について

献血ルームでも既に待ち時間での登録申し込みを実施しており、実施について問題はない。  
→混雑時のオプションとして臨機応変に実施していくこととする。

##### (2) 県内全献血会場での検査採血受け入れについて

既に日赤本社から通知されている内容であり実施すべきであるが、現在はまだ実施していない。  
理由として、問診担当医師にその都度説明しても年配の医師などには容易に受け入れてもらえない(余計な業務として)現状があり、実現のハードルが高い。→血液センター内部で検討してもらうこととする。

##### (3) 登録推進員に対する研修会の別途実施の提案

##### (4) 各登録会の実施要綱、当日要領の血液センター阿部さんへの直接送信開始に際して、薬務課より血液センター宛に通知文書を提出していただくこととする。

#### 2. 保健所担当者研修会

##### (1) 出席者

保健所担当者で今年度より異動で変更となったのは、日立、水戸、つくば、土浦、竜ヶ崎。推進員は日立の得田(とくだ)さん、水戸の野上さん、つくばの伊井さん

##### (2) 研修内容は、①原さんから骨髓バンク事業概要説明②鉾田保健所長洲さんから登録会の企画調整手順説明③私から資料説明&説明員研修④質疑応答など

##### (3) 県人事情報

薬務課課長に、98年の骨髓バンク担当であった真家さん(前血液センター技術部長)、技佐(次期課長ポスト)に同じく99年の骨髓バンク担当であった寺島さんが就任されました。いずれも私たちの活動を熟知された方々ですので、もうこれ以上ないほどのベストメンバーで、実にうれしいことです。(牛島英二)

## ドナー登録者30万人をめざして!

## 4月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

### 5月9日 土浦ピアタウン献血併行登録会

ドナー登録者数 7名(受付7名)  
献血者数 40名(受付49名)  
登録会参加者  
土浦保健所 藤村様 関様  
登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)  
いばらきの会 小田倉、福間、山崎(揚)

当初予定していたジョイフル本田荒川沖店が工事のため、同日献血実施予定の土浦ピアタウンに変更しての献血併行型登録会でした。平日のショッピングセンターということもあり、客足も少なく献血される方が登録対象年齢より超えている方が多かったです。

土浦保健所管内での献血場所は他にもドナー登録数が期待できる場所も多いと思いますので実施場所の選定を見極める必要があるかも知れません。

参加された皆様大変お疲れ様でした。(山崎暢久)

### 5月13, 14日 つくばフェスティバル(つくば献血ルーム)献血併行登録会

13日(土)

ドナー登録者数 11名(受付11名)  
献血者数 65名(受付71名)  
登録会参加者  
つくば保健所 方波見様、木所様、谷中様  
登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)  
いばらきの会 牛島、川井、湯本、和田、福間

14日(日)

ドナー登録者数 17名(受付18名)  
献血者数 82名(受付94名)  
登録会参加者  
つくば保健所 木所様、谷中様  
登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)  
いばらきの会 鈴木、小田倉、野沢、湯本、植村、和田、武田さん(神奈川)、福間

13日は、朝から雨でしかも寒かったため人出も少なく献血者のみがたよりの登録会でした。翌日14日はなんとか雨もあがり、午後からは晴れ間も出てきたので献血者も多くなりました。

今日はバンク登録が目的で来てくださった方が多くやりがいのある一日でした。(福間究)

### 5月19日 キヤノン取手工場献血併行登録会

ドナー登録者数 20名(受付23名)  
献血者数 187名(受付247名)  
登録会参加者  
竜ヶ崎保健所 加藤様、新井様  
登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)  
いばらきの会 貫井、稲葉、山崎夫妻、福間、植村、牛島  
献血バス3台配車の県内一大型献血会場で、予想通り献血数は順調に伸びましたが、登録数の方は新記録

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## 4月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

更新の期待にもかかわらず残念な成績となりました。終日会場内は献血者の長い待ち行列ができておりまして、出前方式の待ち席登録受付を積極的に実施し、登録数20名中半数超えの11名の方に同方式での登録をしていただきました。当日は幸いにも私以外に山崎さん、福間さんら地区普及広報委員もおり、福間さんにささやき作戦、山崎さんと私で出前受付を分担して効率よく業務を進めることができました。同方式は実施する側の負担が高いものの、登録希望者のニーズにマッチしており、こうした混雑する献血会場では極めて有効であることがここでも実証できました。同方式では、献血者が待ち(PC入力、検査採血)席に着席中に解説グラビアでの説明受け、申込書記載を行うもので、その方の席移動と共に説明者も付随して移動することにより、待ち順をキープしつつ登録も併せてしていただけますので、究極の献血併行型とも言えるものです。また、献血問診後の検査採血待ち席で登録希望された方には再度登録用の問診が必要ですが、その方が問診のため待ち席を離れる時は手すきの者が代理で着席して、その方が戻るまで待ち順をキープするなどの配慮も行いました。さらには献血を終了した方が登録を希望されたケースが2回ありましたが、待ち行列を整理する血液センター職員の方の特別な計らいで、長い行列が終日続いていた検査採血を優先的に実施していただき、誠に頭が下がる思いでした。(牛島英二)

### 5月26日 キヤノン取手工場献血併行登録会

ドナー登録者数 30名(受付31名)

献血者数 159名(受付201名)

登録会参加者

竜ヶ崎保健所 加藤様、新井様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 山崎夫妻、福間、貫井、稲葉、望月、牛島

今回は問診医師として血液センターの柏井所長がお見えになり、大変好意的にご対応いただき、心より感謝申し上げます。会場では前回5/19での実績より、PC入力待ち、問診待ち、検査採血待ちのそれぞれの待ち席イスの随時の移動も臨機応変にスムーズに行えて、献血者の方への案内誘導もうまく実施することができました。残念ながら献血者数は前回を下回りましたが、幸いにも登録者数は前回20名に対して、今回は30名と大幅に増加しました。前回効果を発揮した臨時受付方式は、今回は比較的待ち行列が短かったこともあり、解説グラビアでの説明を待ち席で受けていただき、登録席ではすぐに申込書への記載をしていただくことで、登録時間短縮に努めました。ただ、残念だったことは、献血後または検査採血後に登録をご希望になり、結果として針の二度挿しとなった方が今回は7名も発生してしまったことです。早い段階で現場の血液センター職員の方からのアドバイスもあり、待ち行列の方には「ドナー登録ご希望の方は献血前にお申し出ください。」と何度も声掛けを行ったのですが、献血受付時にお渡しした県のパンフを献血採血中などにお読みになって登録意思を固められた方が多かったようです。キヤノンの担当部署に終了後のお礼のご挨拶時に、ぜひ次回も登録会開催をお願いしたところ快諾をいただきました。新記録達成は次回持越しといたします。(牛島英二)

### 5月31日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数 28名(受付29名)

献血者数 54名(受付74名)

登録会参加者

つくば保健所 木所様、赤澤様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 伊井、鈴木、植村、福間(明)、福間

初の筑波大学登録会でした。午前中はドナー登録7名とさほど多くはありませんでしたが、場所を変えた午後は、献血に来られた人に遠路参加された伊井さんが声を掛けると次々にドナー登録していただき、一時は同時に4人の説明を行う状況でした。16時に献血受付が終了してからも15～6人の学生さんが献血に来られたので、もう少し時間が長ければもっとドナー登録が増える感触でした。秋にも献血があるようですので、その時はドナー登録会もぜひ行いたいと考えています。(福間究)

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## 4月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

### 6月15日 下妻市役所献血併行登録会

ドナー登録者数 20名(受付21名)

献血者数 98名(受付 124名)

登録会参加者

常総保健所 鈴木様

推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 川井、井手高子、坂下、福間(明)、福間

登録会中はなんとか天気が持ちました。平成16年度の同じ下妻市役所での登録会(チラシを全戸配布していただいた時)は21人の登録でしたのでほぼ同数の登録者でした。

登録会では下妻市、下妻青年会議所、下妻市商工会青年部の皆様にお世話になり有難う御座いました。

(福間究)

### 6月23日 鹿嶋チェリオ・ジャスコ献血併行登録会

ドナー登録者 登録11名(受付11名)

献血者数 68名(受付94名)

登録会参加者

潮来保健所 高城様、長山様

登録推進員 野上さん(水戸献血ルーム)

いばらきの会 山崎、牛島

献血者数はまずまずの結果でしたが、来店客も含めて全体的に年齢構成が高く、登録者数は低調でした。店舗側のご好意により、すぐ近くの出入り口でチラシ配布と呼びかけを終日実施しましたが、年齢を理由に断られるケースが目立ちました。

当日の天候は幸い曇天スタートで、午後からは薄日も差すようになりましたが気温はさほど上がらず、梅雨場の屋外テントでの登録会場運営でしたが、比較的スムーズな登録会となりました。

当日、血液センター職員の方に伺った情報では近くのホームセンターでの至近の献血で、80名近くの実績があったとのことですので、次回は候補会場の一つに加えていただければと考えております。

(牛島英二)

### 6月29日 原子力研究所那珂研究所献血併行登録会

ドナー登録者数 5名(受付5名)

献血者数 58名(受付64名)

登録会参加者

常陸大宮保健所 青木様

登録推進員 得田さん(日立献血ルーム)

いばらきの会 福間、細谷

献血者数はあまり多いとは言えませんが、社員の年齢層が若い方ばかりなので多くの方に登録いただけると期待しておりました。

しかし結果は5名。事前に掲示板や回覧などで告知についてご協力いただいたのですが、いまひとつ効果は無かったようです。

そんな中、今回もホームページから申込用紙を印刷して記入までして、来てくれた方が1名いらっしゃいました。所員の年齢層から考えると告知の方法をもう少し工夫して、登録者数を増やすことも出来るように思います。

ただそれには那珂研の方の協力が必要になるので、どこまでお付き合いいただけるかも疑問です。

もし他に献血者数の多い会場があれば、次回はそちらに変更したほうがいいのかもかもしれません。

## ドナー登録者30万人をめざして！

## 7月～9月 茨城県内イベント登録会予定

7月から9月の主なイベント及び登録会の予定は下記の内容になります。

7月24日	三菱化学鹿島事業所	(担当地区普及広報委員 牛島)
7月28日	NECコンピューターテクノ	(担当地区普及広報委員 細谷)
8月24日	陸上自衛隊勝田駐屯地	(担当地区普及広報委員 細谷)
8月26日	まつりつくば会場	(担当地区普及広報委員 福間)
8月27日	まつりつくば会場	(担当地区普及広報委員 福間)
9月 7日	水戸経理専門学校	(担当地区普及広報委員 山崎)
9月12日	ベシア玉造店	(担当地区普及広報委員 山崎)
9月14日	日製情報制御システム事業部	(担当地区普及広報委員 牛島)
9月15日	八千代公民館	(担当地区普及広報委員 福間)
9月28日	結城市公民館	(担当地区普及広報委員 細谷)

※登録会の予定は変更になる事も有りますので、登録会参加ご希望の方は、事前に、事務局若しくは各担当地区普及広報委員にお問い合わせ下さい。皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

☆今年も、つつみ幼稚園にてペンシルバルーン募金を行います！！

毎年、バルーン募金にて参加させて頂いています、取手(旧藤代町地区)のつつみ幼稚園の代理人の大久保さんより今年も参加要請がありました。

場 所:つつみ幼稚園 0297-83-3591 茨城県取手市双葉3丁目7-1

予 定 日:7月22日(土) 3時半頃集合、4時半頃開始

参加内容:ペンシルバルーン募金活動

当日参加可能な方は山崎もしくは、メールにてご連絡をお願い申し上げます。

なお、当日参加される方は、先方様の駐車場の関係で、なるべく、公共交通機関、乗り合わせなどで会場へお越し下さい。

### 新会員紹介コーナー

☆初めまして☆新しくいばらきの会に入りました、高畠 萌菜美です！水戸市の看護学校に通っています。分からないことばかりで色々お世話になるとは思いますが、これからよろしくお願いします〃(^-^)

☆この度、いばらきの会で活動をさせて頂くことになりました井手高子です。私の活動に参加するきっかけは、日立で活動されていた方が転居されて「誰か日立で活動する人いないかな」との、夫の問いかけに、私でも役に立てるのであればとの思いからです。さっそく説明員の研修をして頂き、ドナー登録が54歳までしかできない事や、骨髄採取は腰の骨からする事などを知りました。周りの友人に話してみると、ほとんどの人が初めて知ることでした。「自分は後少ししか期間がないから子どもに話してみるから」と言ってくれる友人もいました。また先日、緊張のなかで実地研修を受けさせて頂きました。地道に活動しているいばらきの会の皆さんの姿、そして呼びかけに応じて登録をされる方の、人の役に立っていかうとする姿に感動しました。いばらきの会の活動の大切さが少しわかったような気がしました。微力ではありますが活動に参加させて頂きながらお役に立っていきたくと思っています。宜しくお願いいたします。

## ドナー登録者30万人をめざして！

# 会員便り

またまた新設コーナーの登場です。

このコーナーは、会員の皆様から寄せられたご意見の掲載コーナーです。これからも、どしどし投稿下さい。

☆登録会に参加していてホントに良かった！

それは、ほんのちょっとした一言から始まりました・・・「私はこんなに元気です！」・・・

5月13日、つくばフェスティバル当日。天気はあいにくの雨降りでしたが、つくばフェスティバルは私にとって、3年前いばらきの会の活動に初参加したイベントという思い出深いものでしたので、とっても楽しみかつやる気マンマンで臨みました。

午前中は天候の為に献血・ドナー登録共に振るわなかつたので、ビル内でのビラ&ティッシュ配りを度々行っていたのですが、午後からの受付開始とほぼ同時に、お昼ころビラをもらってくださった若いお母さんとお嬢さんが、ドナー登録の説明を聞きにいらしてくださいました。私の勧誘が功を奏したんだ！と勝手にやたら感激した私は、嬉々として説明業務に取り掛かりました。

そのお母さんは一通り説明を受けた後、採血や健康診断に何度も病院へ出向かなければならない事、全身麻酔下で骨髄採取が行われる事、まだ小さいお嬢さん(5歳)をおいて4日間の入院をしなければならぬ事など、いろいろな不安材料があるので、とりあえず今回はちょっと登録を見送りたい、とおっしゃいました。献血はしていかれるとの事でしたので、チャンスをお渡しして、ぜひまたご再考下さいと申し上げました。その時ふとそのお母さんが「移植を受けたあとの患者さんて、どのくらい(程度的に)お元気になれるんでしょうか？」とお聞きになったので、『これはまさに私がいい見本じゃない!!』と思い、ついポロリと「私も移植を受けた元患者で、今はこうしてボランティアの活動ができるくらい元気になりました！」とチカラいっぱい申し上げた途端、何と何とそのお母さんはワッと泣き出してしまわれたのです。

一瞬私は『アララ、私泣かせちゃったよ!!』とパニックになりました。ポロポロと涙を流しながら「こんなにお元気になられた方を目の前にして、私、今日は登録を見送るなんて言って申し訳なくて・・・」とおっしゃるお母さんを前に、なんとかしなきゃー、とオロオロしながら、私は必死で「ドナー登録なされた方がどんなに提供の意思がごありでも、皆さん確実に提供まで至るというわけではないんですよ」とかなんとかあれこれ言い訳したりなだめたりしました。(なだめてるつもりが、私も涙ぐんでしまいました)

しばらくしてお母さんは落ち着かれ、決然とした表情で、「娘がもう少し大きくなって離れていられるようになったら、必ずドナー登録しにまた来ます。」とおっしゃってください、献血に向かわれました。

私はその受付を済ませたと同時に大きくひとつため息をつき、『あんな風に言うんじゃないかな～』と強く思いました。その女性も、まさか目の前の人間が元患者さんなどとは思わなかったのでしょうか。

そこまで感激してくれる人がいる。まだまだ世の中、捨てたモンじゃないかと逆に私も感激してしまいました。それまでの登録会でも、もし登録希望の方に聞かれるような事があればお話しすればいいと思っていて、実際にそうして来たのですが、説明のしかたにもTPOに応じて気を配らなければいけないなあ、と改めて思った一瞬の出来事でした。(湯本倫子)

☆筑波大学で初のドナー登録会実施

5月31日に筑波大学において初の登録会を実施することができました。

筑波大学ではしばらく献血が行われていなかったそうですが、昨年12月に献血が再開され今回は2回目です。

今回登録会を行うことが出来たのは、骨髄バンクに積極的にご協力頂いた、筑波大学附属病院職員の池田様が筑波大学医学学群長の中山教授に登録会の事を話していただき実現しました。筑波大学は学生数約1万人、面積が日本で2番目に大きい大学で留学生も沢山います。そんな大学で念願の登録会を行うことが出来ました。開催にご協力いただきました皆様に感謝感謝です。ありがとうございました。今年度中にもう一度、献血があるそうなので、その時もまた登録会が実施できるよう願っています。(福岡究)

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## ☆ハッスルエイド登録会に参加して

6月17日にさいたまスーパーアリーナで行われました「ハッスルエイド」の登録会に参加してまいりました。PM12時からPM16時までの4時間で61名の登録者がありました。  
今回は集団登録会方式でしたが問診医一人で休憩もなしに61人は大変だったのではないのでしょうか？場所がプロレスの行われる会場と少し離れていたのではなかったのかもしれませんが。また当日は、財団よりハッスルエイド興行主催者である㈱DSE社に感謝状が贈呈されました。(小田倉孝夫)

☆皆さん、いばらきの会新キャラクターを宜しくお願ひします。  
登録会などで使うPR用ティッシュを作ることになり、デザイナーを探したところ、私の兄夫婦の仕事仲間の浅生ハルミンさんにお願ひすることになりました。  
先日打ち合わせと御礼を兼ねてお会いする事ができました。すごい美人で不思議な魅力のあるほのぼのとしたとても優しい方でした。  
今回のイラストのデザインの件もとても快く引き受けてくださり、優しさの伝わるかわいいイラストをご提供いただきました。  
キャラクターの名前は「骨髓くん」と女の子「ともちゃん」です。とてもかわいらしくこれから大活躍してくれるものと期待しています。  
皆さんも骨髓くんとともちゃんを、是非是非応援よろしくお願ひしますね。(細谷みさ紀)

浅生ハルミン (あさおはるみん)

プロフィール

名古屋造形芸術短期大学卒

デザイン事務所勤務および現代芸術家としての活躍を経て、現在はイラストレーター。

NHK-BS「こころがこどもになる」オープニングタイトルのアニメーションやリビングデザインセンター

OZONEで行われた「日本人とすまい・家事」展のイラストレーションを手がけるなど多方面で活躍中。

また、エッセイストとして「relax」「STUDIO VOICE」「modern juice」で執筆。古本関係の専門誌に連載を持つなど古書にも造詣が深い。(著書「私は猫ストーカー」より転載)

## ☆情報労連茨城県協議会様からのご寄付

去る6月13日に情報労連茨城県協議会の柴田支部長様、秋田事務局長様より、69,947円のご寄付をいただきました。いばらきの会に寄付をいただいたのは、今年度初めての登録会を4月12日にNTT水戸分会で実施したご縁です。  
労働組合様からご寄付をいただくのは平成17年の日立伊勢甚労働組合様以来です。貴重なご寄付はドナー登録30万人を目指し大切に使用させていただきます。なお、当会から、福間事務局長、山崎さんが贈呈式に参加しました。

## ☆茨城県南瓦工事業組合様からのご寄付

当会会員であります佐藤伸次さんが、5月14日に行われた「茨城県南瓦工事業組合」総会で骨髓バンクのPRと募金をしていただき「いばらきの会」に13,500円の寄付をいただきましたのでご報告いたします。貴重なご寄付はドナー登録30万人を目指し大切に使用させていただきます。

**ドナー登録者30万人をめざして！**

## 会長の独り言

<待望の適合通知、ついに来る！>

昨年9月に53歳で骨髄バンクに再登録し、再抹消まであと1年半となった今年2月のことです。休日出勤の夜に社宅に帰り着いて、郵便受けに届いた郵便物を部屋に帰って見てみると、財団からのオレンジ色の封筒に赤い囲文字で「重要」「親展」とあり、差出人は「初期コーディネーター担当」、開封する前から「来た——っ！」と直感しました。そうです、ついに、やっと、ようやく私にも適合通知が来たのです。誰もいない部屋の中で、「よっしゃー、やったー！」と大きくガッツポーズを決め、大きな声で一人万歳を繰り返しました。思いがけない朗報にうれし涙も出ました。

もちろん、その晩は一人酒盛り&一人乾杯で大いに盛り上がりました。思えば93年の初回登録以来、苦節？13年、待ち続けてきましたが、これで私もようやく半人前になりました。早速に問診表を記入し終えて、翌日返送しました。

その後、担当コーディネーターより連絡があり、3月初旬に千葉大学付属病院で確認検査を受けることが決まりました。早速ダイエットと禁酒を開始して、臨戦態勢を整えたのですが、誠に残念ながら確認検査の前日になって、担当コーディネーターから患者側都合でコーディネート中止のむごい連絡。

それを聞いた時はもう思いっきり落胆しましたねー。

なんでー？おれがハゲてるから？おなかが出ているから？足が短いから？口が悪いから？チクショー、恨んでやる！末代まで崇ってやる！このお返しは必ずくれてやるからなー！憶えていろー！！でもわずか十日間ほどの禁酒で済んで、正直ほっとしました。

禁酒のお陰で仕事は手につかないわ、手は震えてくるわ、情緒不安定になるわで、もう大変だったんですから。これって立派なアル中ですよ。

財団某氏からは、「今回は緊急コースだったので、患者さんが骨髄バンクからの移植を待たず、臍帯血バンクからの移植を選択したのかもしれない」となぐさめられて妙に納得し、すぐに気持ちを切替えて「またこの次、お声が掛かったらがんばろう！」と考えることにしました。

でも禁酒に耐えられるかがちょっと心配。再登録してわずか半年で適合通知がきたカラクリについて、某ボランティア先輩から聞いたことには、骨髄バンクがスタートして間もない頃に登録した人は、DNAレベルのHLAデータが不明であるため、登録時にDNAレベルまで検査している最近の登録者が優先的に適合検索されるため、とのことでした。

従って、私と同様かなり以前に登録して、その後まったくお呼びが掛からない人は、一旦登録を取り消して再登録すればもしかしたらすぐに適合通知が来るかも知れません。

でもこの方法は財団には内緒にしてください。余計な費用負担を掛けるからですが、それが移植を待つ患者さんのためになるのであれば、許されるかも。

現在の登録者数は24.5万人ですが、DNAデータがないという理由でその全てが有効に機能していないとしたら、これは問題ですね。

いずれにせよ、私のHLA型は特殊だから適合しないとあきらめかけていただけに、今回の適合通知は誠に大きく明るい朗報です。あと1年ちょっとの登録期間中に絶対提供するぞー！と毎日自分に言い聞かせています。(牛島英二)

**ドナー登録者30万人をめざして！**



骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義: 00110-3-127575

加入者名義: 骨髄バンクを支援するいばらきの会

### 心のもったご寄付をありがとうございました。(2006.4.1~6.30)

お寄せいただいたご寄付のうち会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

情報労連茨城県協議会様69,947円/茨城県南瓦工事業組合様13,500円/伊井義人様3,000円/井手高子様1,000円

牛島英二様51,000円/川井正一様2,000円/菊池玲江様4,000円/佐藤朗様3,000円/佐藤ちい子様3,000円

富田光穂様8,000円/林敬子様8,000円/福間究様1,000円/山崎揚久様5,000円

☆骨髄バンクのコミュニティサイト「ドナーズネット」をリニューアル

～あなたの決意によって、また1人、笑顔が生まれます。～

2001年に開設された骨髄バンクのコミュニティサイト「ドナーズネット」がリニューアルされ、7月1日より運用開始となります。骨髄移植推進財団では、骨髄バンクからの有効な情報提供が不可欠と考え、ドナー登録希望者と、すでに登録済みの方々の入り口を分けることによって目的のコンテンツに容易にたどりつける導線を作りました。

また最新情報を提供するためのためのブログも新設しました。

これまで同サイトで運営していたモバイルサイトも引き続きサービスを提供します。

ドナーズネットURL <http://www.donorsnet.jp/index.html>

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。 <http://www.jmdp.or.jp/index.html>

#### 編集後記

本年度も、会報編集を担当させて頂くことになりました。

会報は、会員の皆様や関係者の皆様との意見交換の場でもあります。ご意見、ご希望などありましたらどしどしお寄せ下さい。(編集担当 小田倉孝夫)

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数: 248,340人(県内4,951人)

骨髄移植希望者(患者数): 3,279人(海外1,766 県内50人)

バンクを通じての移植例数: 7,391例(海外139 県内移植数140例、県内採取数129例)  
(2006年5月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

**ドナー登録者30万人をめざして!**